

2016
10
No. 153

しゃっきー

十月一日から
赤い羽根共同募金運動が
全国一斉に始まります

■社協の会員会費制度

■地域福祉事業資金造成チャリティーパーティー
大盛況のうちに終わる

■特別養護老人ホーム心と園敬老記念品授与式

■ニュース&トピックス
「町老連交通安全のつどい」ほか

■ボランティア通信「なかよし」
「手芸または料理の指導ボランティアを募集」ほか



シャッキーは厚岸町社協のシンボルキャラクター名です。



大いに盛り上がり、交流を深めた
チャリティーパーティー
本誌にも多くに収載報告が戻るの
を期待ください

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金



十月一日から
赤い羽根共同募金運動が
全国一斉に始まります

自分の町を良くする
しくみとは

資金確保を目的に行われて
います。

赤い羽根共同募金運動は、

赤い羽根共同募金は、障
がい者や高齢者の福祉サ
ビス、町民の皆さんが福祉
活動に積極的に参加できる
ような環境づくりのための

「じぶんの町を良くするしく
み」として、地域と一緒に
進めていくための運動です。
皆さんから寄せられた募
金は厚岸町へ還元され、社

会福祉活動や老人クラブ事
業、障がいのある方などを
支援する団体に活用されま
す。

また、募金の一部は全道
枠の募金として、道内の福
祉施設の整備資金や車両購
入の助成金、災害事業等に
役立てられます。

地域で暮らす人たちのた
めの住みよい地域づくり
に向けて、ご協力をよろしく
お願いします。

妖怪ウオッチのキャラクター達が
赤い羽根共同募金を応援します

今年の目標額は
2,530,000円です。

厚岸町で実施する募金の取組み

- 戸別募金**…自治会を通じて、世帯ごとに募金をお願いします。
- 法人募金**…企業・団体・商店など直接訪問して募金をお願いします。
- 学校募金**…福祉教育の一環として、学校を通して募金を行います。
- 職域募金**…会社の職員に呼びかけ募金をお願いします。
- 街頭募金**…子野日公園で行われる「あつけし牡蠣まつり」会場で街頭にたつて募金を行います。
- 募金箱**…町内施設や大型店舗に設置します

寄付金の使いみち

皆さんから寄せられた寄付金は、全て当町と北海道の地域福祉活動のために役立てられます。

今年度は、高齢者、ハンディキャップをもつ方などを支援する福祉団体、福祉活動を推進している社会福祉協議会、少年の健全育成と自治会との交流を行う団体の事業活動資金に助成しています。(表)

税制上の優遇措置が受けられます

個人や企業が赤い羽根共同募金に二千元以上寄付した場合、税制上優遇措置の適用が受けられます。

株式会社など法人の場合は、法人税法により法人所得の計算上「全額損金」として取り扱えます。

また、個人の場合は、所得税の所得控除、住民税の税額控除の対象になります。

「災害見舞金」を知っていますか？



赤い羽根「災害見舞金」は、交付要領に基づき、災害で床上浸水や家屋破損等の被害を受けた世帯に対し、見舞金を交付します

この扱いは確定申告の際に領収証を添付の上、申告すると受けることができます。

被災した方には災害見舞金を交付します

火災及び風水害等により、次の要件に該当する被災者に「災害見舞金」を交付します。(写真)

■道内市町村の住民基本台帳に記載されている方

■自己の居住用に供している住家に被害を受けた方

災害見舞金は、被害状況によって次のとおり交付されます。

①災害により世帯構成員が死亡された場合、一人につき二万円

②住家に被害を受けた場合、全壊・全焼・流失は二万円、半壊・半焼・床上浸水は一万円

※ただし、災害救助法の適用を受けた場合、罹災者の故意又は重大な過失が災害発生の原因と判断される場合は支給しません。

新たな助成希望団体は相談を

これから活動を考えてい

る団体で、助成希望がありましたら相談ください。(連絡先/厚岸町共同募金委員会事務局 TEL 52-7752)

28年度共同募金助成決定団体と助成額(厚岸町)

【全道を対象とした道地域助成(A助成)】		
厚岸町社会福祉協議会	厚岸町立厚岸中学校(平成28年度指定)	30,000円
厚岸町社会福祉協議会	厚岸町立真龍中学校(平成28年度指定)	30,000円
【厚岸町を対象とした市町村地域団体助成(B助成)】		
厚岸町社会福祉協議会	広報誌発行	534,674円
厚岸町社会福祉協議会	たすけあいチーム助成事業	280,000円
厚岸町社会福祉協議会	ふらっとニコニコ広場	200,000円
厚岸町社会福祉協議会	ふれあい会食会	160,000円
厚岸町社会福祉協議会	ボランティア研修会	50,000円
厚岸町老人クラブ連合会	会員演芸交流会	140,000円
厚岸町老人クラブ連合会	厚岸町老人クラブ連合会50周年記念事業	100,000円
厚岸町老人クラブ連合会	高齢者生きがい事業	40,000円
厚岸町障がい者・児を持つ親の会「なないろ」	レスパイト事業	100,000円
厚岸町障害者(児)ふれあいフェスティバル実行委員会	こう福祉21	110,000円
厚岸町地域子ども会育成連絡協議会	野外活動体験事業「親子でるるる」	30,000円
身体障害者福祉協会厚岸町分会	町外研修旅行	55,000円
厚岸コミュニケーション障害の会	会員研修旅行	40,000円
北海道難病連厚岸・浜中支部	医療講演会	30,000円
ちいさな絵本箱	読み聞かせ事業	30,000円
合	計	1,959,674円

社協の会員会費制度

1コインからはじまる

地域でのささえ愛(支え合い)

社協とは

社協とは、「社会福祉協議会」の略称で、わたしたちが住んでいるまちの暮らしや生活(社会)、のしあわせ(福祉)について、一緒に話し合う(協議)の、集まり(会)です。

社協の目的とは

その社協は、地域での「人と人のつながり」を大切に、住み慣れた地域で安心して生活できる福祉まちづくりを目指して、地域福祉の推進に努めている公共性の高い民間組織になります。

社協の会員制度

厚岸町社協をはじめ、多くの市町村社協では、目的達成のため「住民会員制度」

を設けて、全世帯の会員の加入をお願いしています。

住民会員制度の意味

住民会員制度は、資金面から支えていただくサポーターを意味します。ボランティア活動などへの参加が難しくても、会員になることで、地域福祉に参加することが出来ます。

会費の使い道

厚岸町社協の会費は、地域福祉の推進を目的に限定して、これらの事業を維持するための事務費や事業費などに使っています。厚岸町社協は、さまざまな事業を行っていますが、支出のうち人件費については、補助金や受託金、介護保険収入で賄われ、会費収入は充

表 社協会費の種類

会費区分	納入方法
一般会員会費 (1世帯500円)	自治会に取りまとめを依頼
特別会員会費	役職員が、個人、企業、団体などを訪問集金
1号会員 (5,000円)	
2号会員 (3,000円)	
3号会員 (2,000円)	
4号会員 (1,000円)	

てられています。

厚岸町社協が実施する地域福祉を推進するための事業

皆さんからの会費は
このような事業を維持するための経費として活用されています

ふれあい会食会

日中一人で過ごすことの多い高齢者のふれあいの場づくりや生きがいづくり



広報誌などの発行

社会福祉協議会で行っているさまざまな事業や、福祉に関する情報の提供



ふらっとニコニコ広場

障がいを持つ人、持たない人、高齢者や子どもなど、あらゆる人が交流できるイベント





地域福祉事業資金造成 チャリティービアパーティー 大盛況のうちに終わる

～チャリティー益金は472,736円～

表 チャリティービアパーティー収支報告

収入の部		
会券収入	912,000円	1,500×608枚
計	912,000円	①
支出の部		
飲食費	298,710円	飲物、オトブル等
景品費	48,600円	お楽しみ抽選会景品
印刷費	35,257円	会券用紙・印刷代等
通信運搬費	23,792円	郵送料
その他経費	34,120円	白布クリーニング代、消費税
計	440,479円	②
収支差額(益金)		
収支差額	471,521円	①-②

去る9月3日、社会福祉センターにおいて、昨年引き続き、地域福祉事業資金造成を目的としたチャリティービアパーティーを開催し、大盛況のうちに終わることができました。

当日は、286名の方が来場し、サツポロ・アサヒ・キリン・サントリーの4銘柄のビールを楽しまれ、ほろ酔い気分での交流の場となりました。

この益金は、地域の福祉活動へ助成する「たすけあいチーム助成」のほか、今年度の地域福祉事業の財源として活用させていただきます。

2,000円で、かかった経費440,479円を差し引き、471,521円がチャリティー益金となりました。(表)

収益は、会券収入の91,479円を差引いた521円

ホームヘルパーからの健康ワンポイント

～秋には、要注意～

暑い夏が過ぎ、過ごしやすくなった秋なのに、なぜか体の不調を感じることはありませんか。頭痛・めまい・眠気・倦怠感・やる気が出ない、そして肌荒れなど、それは夏の疲れが原因かもしれません。

夏は冷たい飲み物や食べ物で体を冷やしてしまうため、胃腸機能が低下しがちです。秋は空気が乾燥してきますので、汗をかいたことに気づく前に乾いてしまいます。水分不足は便秘や肌荒れの原因となります。夏と同様、水分の補給はとても大切

です。そこで『白湯(さゆ)』のご紹介です。白湯とは、一度沸かした湯を冷ましたものことです。

『白湯の効果』

代謝が改善することで、冷え症・便秘改善・美肌効果などが期待できます。

『白湯の作り方』

①やかんに800～1,000ml(1日分)位の水を入れる。②やかんに火をかけ、沸騰したら火を弱め10分くらい沸騰を続けます。(水面がボコボコするくらい)③沸かしきったら完成です。すぐに飲む分をカップへ移し、残り



は保温ポットへ入れましょう。

『飲むタイミング』

朝は食事の前に飲みます。(歯磨きなどで口の中の汚れを取ってから)昼と夜は、食事をしながら飲むと消化が良くなります。冷めた場合は、沸かし直すよりも作り直したほうが効果がよりでしょう。

簡単にできる白湯で、今年は快適な秋を過ごしてみませんか

特別養護老人ホーム心和園 敬老記念品授与式

今年も9月19日、特別養護老人ホーム心和園の敬老式典を開催しました。

長寿祝金該当者は5名となっており、塚田政一さん、村上守さん、川村チエさんが、それぞれ厚岸町より祝金を受け取られました。当日入院中であった樋浦禮三さん、堀トクさんにつきましては、後日贈呈させてい

ただきます。さらに塚田さんの百歳を祝い、内閣総理大臣から祝状と銀杯が贈呈されました。

[左] 写真から内閣を
総理大臣より銀杯を
受け取った塚田政一
さん、厚岸町から取
った祝金を受け取
った村上守さん、
川村チエさん



[右] 美しい音色で、会場を華やかに色づけた「テタール」のふたり

今年度も堀部さんから式典に花を添えていただくとともに、式典終盤には、鉦路市内で音楽活動をされている「テタール」の渋谷さん、長久保さんにも来園いただき演奏の披露をしていただきました。
来年につきましても今年のように華やかに見えるよう努力していきます。

在宅老人デイサービスセンター



[左] 記念のくす玉割りは「大・成・功」



9月19日から9月23日の5日間、在宅老人デイサービスセンター敬老会を行いました。くす玉割り、テープカットをとりおこない、敬老の記念品授与の後、職員による余興がありました。ただ見て楽しむだけでなく、ロシアンルーレット、尻相撲トーナメント、二人羽織の各余興の勝者を予想して楽しみました。
スペシャルゲストによるステージもあり、お腹が痛くなるくらい、笑って盛り上がった五日間でした。写真をご覧ください。

[左] 会場を笑たゲス
場に包まれよる
スペシャルステージ



[ニュース&トピックス] NEWS&TOPICS

☆社協の行催事の他、町内福祉団体の話題などをまとめてお伝えします



[上] 池田町の視察で、社協役員らがふまねっとの指導を受ける

[下] 町老連前田副会長から樋口厚岸警察署長へ署名簿を渡し、交通安全を誓う



[上] 浴衣姿の子どもたちと、白浜集会所前で記念撮影

津別町・池田町2町を視察 先進地視察研修

社協では、先進的な取り組みを実践している道内の市町村社協を視察する研修を企画し、7月13日・14日の2日間、役員・評議員7名が参加しました。

1日目の津別町では、厚岸町でも立ち上げを検討している後見実施機関の運営を中心に意見交換し、2日目の池田町では、住民主体の介護予防教室の現場見学で、網の目をリズムよく進む「ふまねっと」や、座りながらできる手遊びを、地域の方と一緒に体験しました。

いずれの活動も、人口減少社会で現役世代の割合が減少する中、地域住民が活動の担い手として活躍されている取り組みで、これからの厚岸町においても求められる視点となるものでした。

加害者にも、被害者にも ならない 町老連交通安全のつどい

9月1日、老人クラブ連合会では、交通事故防止の一助になるようにと、平成2年より行っている「交通安全のつどい」を開催しました。

その中で会員より集めた署名簿1,112名分を厚岸警察署長に提出し、決して加害者や被害者にならないよう、また、運転者の模範となるよう、老人クラブ会員や地域住民と協力し、交通事故撲滅のための運動を強力に推進することを宣言しました。

その後、DVDを見ながら高齢者の交通安全について講話をいただき、配布された反射板などを活用しながら、歩行中の安全についても再認識し、帰路につきました。

白浜自治会盆踊り大会に出 かけ、地域交流を深める 心和園外出イベント

8月13日土曜日に心和園入所者5名が白浜自治会の皆様のご理解とご協力を得て、盆踊り大会に参加をしてきました。

白浜自治会の皆様とは、従来より防災訓練などでも特に密な連携を図っていただいております。

外出日は、天候にも恵まれ、たくさんのお子さん達とふれあうことができました。参加された入所者の皆さまからは「いやあ〜、よかった」「花火もよかった」と喜ばれていました。

来年につきましても、ぜひ参加して入所者のたくさん笑顔を観てみたいです。

平成29年度社協「元気いきいき教室」 手芸または料理の指導ボランティアを募集



〔上〕小物のマスコット等を作る手芸教室



〔上〕酪農ふれあい館でピザ作りに挑戦

社協では、町内在住で65歳以上の高齢者を対象に、健康維持や介護予防を目的とした、厚岸町介護予防普及啓発事業「元気いきいき教室」を実施しています。

この事業は、専門職や講師の

協力を得ながら、簡単な読み書き、創作活動、腰痛予防の体操や運動など、毎回、活動内容を変えて行っています。

次年度の開催にあたり、年2回程度、協力してくれる方を募集します。

協力が可能な方、興味がある方は、ぜひ協力をお願いします。

詳しい内容を知りたい方は、下記の問い合わせ先まで連絡ください。

■依頼内容

参加者約15名に手芸、または料理の指導

■時間

午前10時から正午または
午後1時から3時まで

■材料代

生地など、活動に必要な材料や道具も用意いただければ助かります。当日、領収書などの支払証明と引き替えに材料代をお渡しします

■その他

会場までの送迎、作るもの、経費等は、調整します

■問い合わせ先

社協総務地域課（杉本）
TEL：52-7752

あっけし子育てサポートセンターからのお知らせ

たくさんのおもちゃ等の寄贈 ありがとうございました

あっけし子育てサポートセンターでは、子どもを預かる提供会員が援助活動を行う際、子どもたちが楽しく、安全に過ごせるよう、おもちゃ等の寄贈をお願いしていました。

広報誌に掲載後、たくさんのおもちゃ等が集まりました。

ベビー用品やおもちゃ等は、規定数に達したため、募集を終了させていただきます。

寄贈していただいたものは、大切に使用させていただきます。



〔上〕寄贈いただいたおもちゃ

なかよし

厚岸町ボランティアセンター
088-1115 厚岸町梅香2丁目1番地
TEL 0153-52-7752
FAX 0153-52-6044

大規模災害発生後に設置される 災害ボランティアセンター

ボランティア活動編①

皆さんは災害という言葉から、何を考えますか？

災害は、地震、津波、噴火など色々ありますが、今年は8月中旬から北海道を直撃する台風が頻繁に発生し、上川、十勝地区に家屋の浸水や土砂災害等、甚大な被害が発生しました。

町でも、湖南地区並びに湖北地区数カ所で冠水がありました。

今回は、床下浸水等の被害報告はありませんでしたが、津波だけではなく、大雨・洪水によって町内の多くの地区が冠水し、ボランティア活動の可能性が考えられる場合、社協は、厚岸町

(町災害対策本部)と協議しながら災害ボランティアセンターを設置します。

今回は、災害ボランティアセンターの運営組織等について紹介しましたが、今回は、実際のボランティア活動とセンターの関わりについて説明します。

災害ボランティアセンターの主な活動

- 災害、安否、生活に関する情報収集、伝達
- 炊き出し、その他の災害救助活動
- 高齢者、障がい者等の介護、看護補助
- 物資、資財の輸送及び配分
- 被災建築物の応急危険判定
- 応急復旧現場における危険を伴わない軽易な作業
- 災害応急対策の事務の補助

協力ボランティアに依頼する活動

- 家屋からの泥出し、ゴミ出し
- 家の周りの清掃
- 家財道具の移動
- 高齢者宅への給水の運搬

他にも、さまざまな活動があります。状況によっては、受付するボランティアを町民や近郊の方に制限する場合があります。

ボランティア支援を行うには

(1) 受付登録をする

受付班でボランティア受付票に必要事項を記入し、ボランティア活動保険に加入します。

(2) 活動開始前に集合する

センターが設定したオリエンテーションスペース(又は集会所等)に、活動開始時間前には集合します。

(3) グループで行動する

被災者は支援を依頼する時に、必要な人数や作業をセンターに伝えていきます。それを基に、活動開始時間になると、マッチング班(注1)がボランティアの中から、複数人のグループを構成し、活動の場所、内容、必要な資材等を説明します。

(注1) マッチング班

被災者からの支援希望とボランティア活動希望を結びつける役割を担います。

ボランティア支援を受けるには

(1) 被災状況を確認する

家屋の状況や被災状況などを確認します。

なお、倒壊等の危険がある場合は、決して屋内に入らないようにする必要があります。

(2) 支援・活動を依頼する

災害ボランティアセンターに電話・来所で依頼します。

ニーズ班が聴き取りを行いますので、個人情報、被災状況、活動希望日・時間、どんな支援活動を必要とするのかを説明します。

(3) ボランティアと作業内容などを確認する

当日、支援に来たボランティアと作業内容や注意することを確認します。

次回は災害発生後に私達ができるボランティア活動について紹介する予定です。



編集後記

■私の知る道東の夏は曇りがちながらも8月下旬からは晴れが続き快適に過ごせる印象でしたが、ここ数年の傾向でもありますが、今年は特に悪天候が多い印象です。気温・湿度・気圧の影響で体調を崩さないよう健康管理に気を付けていきたいですね。(大澤)

■10月1日から、赤い羽根共同募金運動が始まります。記事で、共同募金の仕組みなどを掲載していますので、ぜひご覧ください。10月9日に子野日公園「あつけし牡蠣まつり」会場で街頭募金を行いますので、皆様のご協力をお願いします。(杉本)

厚岸町社協広報誌

しゃっきー

2016. 10/No. 153

【編集】 広報委員会(以下、委員)
 奈尾 和哉 五十嵐愉美
 米内山紘輝 大澤 雅己
 杉本 裕樹 井口 新一
 柏木由起子 小笠原晶子

社会福祉法人

厚岸町社会福祉協議会

〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地

厚岸町社会福祉センター内

TEL 0153-52-7752

FAX 0153-52-6044

mail info@akkeshishakyo.or.jp

URL http://akkeshishakyo.or.jp/

お知らせ情報

TEL 52-7752 FAX 52-6044

お気軽に相談を 福祉中央相談所

民生委員が無料で福祉相談に応じます。秘密は守られますので安心して相談ください。

■日時／11月22日(火)13:30～15:00

■場所／社会福祉センター1A会議室

■相談員／民生委員(中野・吉田・葛西)

■問い合わせ／社協総務地域課 ☎52-7752

帰郷・旅行などの際に 車いす・福祉用具貸出

帰郷や旅行など「ちょっと一時的に借りたい」といった場合に活用ください。車いすをはじめ福祉用具があります。

■貸出場所／社会福祉センター

■費用／無料

■その他／事前に問い合わせがあればスムーズに貸し出しできます。

■貸出備品／車いす、入浴用介護用品ほか

寄付・寄贈ありがとうございます(7月～9月)

[敬称略]

【寄付金】▼特別寄付(福祉基金)／佐藤武志 15,340円、(匿名)30,000円 ▼一般寄付／(匿名)50,000円 [心和園に]

【寄贈品】▼法人本部／厚岸町税財政課資産税係～古切手 ▼心和園／野田米吉～古布・古着、中野鎮香～古布、菅江喜江～古布・ポータブルトイレ、(宥平良木新聞店～タオル ▼デイサービスセンター／箕島テル～ティッシュペーパーほか、松原幸子～エアポット

社協の出来事(心和園の小さな来園者)

厚岸小学校 福祉の仕事を調べよう

8月22日(月)、厚岸小学校の児童18名が「福祉の仕事について調べよう」と題した学習の一環で心和園に来園されました。

児童たちは少し緊張の面持ちながら施設内を見学。職員に「仕事の内容は?」「どうして介護の仕事についたのか?」「苦労や楽しみは?」など熱心に質問し、答える職員も時折、返答に困る場面がありました。こういった率直な質問を受け



ることにより、日頃接している入所者に対しての接し方を改める良い機会となりました。

来園した児童の何名かは将来心和園の職員として介護の道に進むかもしれません。未来を担う子どもたちにとって、良い手本となれるよう、思い直した一日となりました。



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金を受けて発行しています。